

令和7年第2回会津坂下町議会定例会

一般質問通告書

◎ 7月3日（木） 午前10時より

順 番	議席番号	氏 名
1	10	五十嵐 一夫
2	1	高 久 敏 明
3	7	佐 藤 宗 太
4	2	五十嵐 孝 子
5	6	小 畑 博 司

◎ 7月4日（金） 午前10時より

順 番	議席番号	氏 名
6	8	五十嵐 正 康
7	5	横 山 智 代
8	3	目 黒 克 博

令和 7年 6月

第 2 回 定 例 会

一 般 質 問 通 告 書

会津坂下町議会議員

質問者氏名 10番 五十嵐 一夫

会津坂下町議会議長 様

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件 名 及 び 要 旨
			第1, 町長の政治姿勢について。
			1, 選挙公約に町長が今回選挙で掲げた、人づくり・少子化対策支援について問う。
			第2, 新庁舎問題について、審議不十分の地質調査と財政問題、コンパクトシティ政策の検討について伺う。
			1、地質調査に対しての検証がなされていない。基礎杭の引き抜きの実態とその影響、地盤の適否について。 2、新庁舎建設となれば、費用を賄う財政を問う。コンパクトシティ政策等の国の手厚い補助・支援についての検討をしたのか。
			第3, バスを中心とした公共交通、どのように利便性を向上させるか伺う。
			1, 乗りやすくするための取り組み、乗っていただけるための取り組みをどのように工夫しているのか。また乗っていただくための啓発をしているのか。

令和 7 年 6 月

第2回定例会 一般質問通告書

会津坂下町議会議員

質問者氏名 1 番 高久 敏明

会津坂下町議会議長 様

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件 名 及 び 要 旨
			第1 まちづくりの方針について 少子高齢化などの社会情勢や新庁舎建設などを踏まえた今後のまちづくりの方針について町の考えを伺う。
			第2 公共交通対策について 1 地域公共交通計画の策定について (1) 今後の方向性について基本的な考え方を伺う。 (2) 計画策定をどのように進めていくのか伺う。 2 コミュニティバスの運行について (1) 具体的にどのような実施計画を考えているのか伺う。 (2) 今後の実施スケジュールについて伺う。
			第3 現庁舎跡地への賑わい拠点の整備について 1 現在どのような整備を想定しているのか伺う。 2 地域住民との連携など、今後どのように事業を進めていく考えなのか伺う。 3 今後のスケジュールについて伺う。
			第4 坂下東第一土地区画整理事業について 1 「新たな手法による区画整理事業の加速化」とはどのような手法を示しているのか伺う。 2 新たな手法により、年次整備スケジュールはどのくらい前倒しとなるのか、今後の見通しを伺う。

No 3



令和 7 年 6 月

第2回定例会一般質問通告書

会津坂下町議会議員

質問者氏名 7 番 佐藤 宗太

会津坂下町議会議長 様

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件 名 及 び 要 旨
			第1 町長公約について
			1. 6月1日執行の会津坂下町長選挙で、公約を謳っているが、公約をどのように認識しているか。
			2. 今回の公約の主たるものは何なのか。
			3. 掲げられた公約の優先順位をどのように考えられているのか。
			第2 ふるさと納税について
			1. ふるさと納税は寄付者の想いを確実に実現するために、寄付者の使い道を6項目から選択していただいているが、適切に町政に反映されているか。
			2. 寄付額と事業費の差額が生じているが、その差額の考え方は。
			3. 寄付者の想いを組み、適切に事業費に充当すべきと思うが、当町の考え方は。
			第3 ネーミングライツ（命名権）について
			1. ネーミングライツをどのように認識しているか。
			2. 財政健全化、施設の維持管理や町民サービスの向上のために、町有施設に積極的にネーミングライツを活用すべきだと私は思うが、当町の考えは。

No. 4



令和 7 年 6 月

第2回定例会 一般質問通告書

No. 1

第

号

受付

会津坂下町議会議員

質問者氏名 2 番 五十嵐 孝子

会津坂下町議会議長 様

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件 名 及 び 要 旨
			第1 新庁舎建設事業について 「建設場所を含む会津坂下町新庁舎建設の基本的な指針」が3月議会で可決され、これから基本計画、基本設計の具体的な取り組みに入っていくと思われる。 国・県も推進する公共施設の木造化の動きの中で、当町も木材を活用（木造化・木質化）した庁舎建設をどのように考えているのか伺う。 第2 当町における訪問介護の現状について 超高齢化社会により、今後ますます介護の需要は高まると推測される。しかし、それを支える介護事業者の倒産や廃業、介護人材の不足により、希望する人がサービスを受けられない事態がすでに起きはじめている。介護事業者の経営悪化の背景には、介護報酬の引き下げ、物価高騰、介護人材の不足などがあげられている。 そこで、当町の訪問介護はどのような現状にあるのか、ヘルパー不足の状況も含めて伺う。

No.5



令和7年6月
第2回定例会一般質問通告書

会津坂下町議会議員

質問者氏名 6 番 小畑博司

会津坂下町議会議長 様

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件 名 及 び 要 旨
			第1、 教育施設などの防犯対策をどのように考えているか。
			第2、 新規就農の支援策は、就農を希望する方々に寄り添った施策になっているか。 1、 支援金は採択から速やかに渡せる仕組みが必要ではないか。 2、 若手認定農業者の方々の助言を活かす場が必要ではないか。 3、 借入金だけが残るような事案にならないようにすべきではないか。 4、 親元就農との違いを踏まえた支援を考えるべきではないか。
			第3、地域おこし協力隊の皆さんの起業や定住は進んでいるか。（これまでの取り組みから得た教訓は活かされているか。）

令和 7 年 6 月
第 2 回定例会一般質問通告書

№6



会津坂下町議会議員

質問者氏名 8 番 五十嵐 正康

会津坂下町議会議長 様

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件 名 及 び 要 件
			第 1 庁舎建設と財政について 1. 庁舎建設にかかる建設費の圧縮について、庁舎建設の総額が 4.0 億と なっているが、予算縮減の策を講じるべきでは無いか。 2. DXと一体化した計画の必要性についてどのように認識しているか。 第 2 国土調査について 1. 現在の進捗状況を示せ。 2. 現状進めるに当たっての問題点はあるか。 3. 今後の予定と完了までの見通しについて示せ。 第 3 町中の振興施設の創成について 1. 古民家をリノベーションした施設として活用について (1) 町内の古民家等を活用した「発酵文化・そば伝承館」を開設するこ とはできないか。 2. 図書館をキーワードにした地域振興策について (1) 図書館の設置の可能性について町の見解を問う



令和 7 年 6 月
第 2 回定例会一般質問通告書

会津坂下町議会議員

質問者氏名 5 番 横山 智代

会津坂下町議会議長 様

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件 名 及 び 要 旨
第 1	2 期目の古川町政について		
	1	人口減少・少子化問題等の考え、対策について伺う。	
	2	福祉行政について	
		(1) 福祉行政についての町長の考えを伺う。(特に障がい者、高齢者)	
		(2) 今年 2 月に全日本年金者組合福島県両沼支部より提出された	
		「加齢性難聴者の補聴器購入制度を求める要求書」に対する町長の考えと	
		今後の対応について伺う。	
第 2	教育行政について		
	1	小中学生の不登校が急増し、10 年で 3 倍の 35 万人近くなっている。	
		坂下町の子どもの現状と対策を伺う。	
	2	今年も夏の猛暑が懸念されているが、小・中学校体育館への空調設置が必要と	
		思われる。学校体育館は災害時の指定避難場所として活用されることから	
		設置すべきと思われる。	
		国の財政支援を活用し設置を進めることを検討すべきです。	
		町の見解を伺う。	

